

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2006-504787(P2006-504787A)

【公表日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-006

【出願番号】特願2004-550230(P2004-550230)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/357 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

C 0 7 D 493/22 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/357

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 31/12 1 7 1

A 6 1 P 31/14

C 0 7 D 493/22

A 6 1 K 37/66 G

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月25日(2006.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

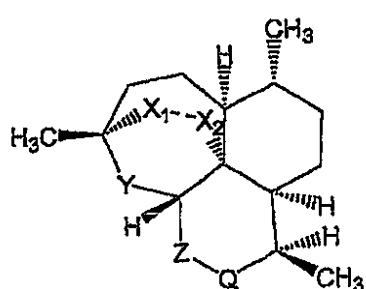
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フЛАВИУИЛСКИИ УИЛС (Flaviviridae sp.) により生起される感染症の治療のための薬学的組成物であって、以下の式：

【化1】



(ここで、X₁及びX₂はO、S、Se及びNからなる群から選択され；

YはO、S、Se及びNからなる群から選択され；

ZはO、NH、S及びSeからなる群から選択され；そして

QはCO、CHOH、CHOCH₃、CHOCH₂H₅、CHOCH₃H₇及びCHOCOCCH₂CH₂COOHからなる群から選択される)

を有するセスキテルペン及びこれらの薬学的に許容可能な塩を有効量含む、前記組成物。

【請求項 2】

セスキテルペンがアルテミシニンおよびアルテミシニンの類似化合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

感染症が C 型肝炎である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

感染症が牛ウイルス性下痢症又は豚コレラである、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

フラビウイルス科ウイルスにより生起される感染症の治療のための薬学的組成物であつて、インターフェロン又はペグインターフェロンとの組合せにより有効量のエンドペルオキシドを含む、前記組成物。

【請求項 6】

エンドペルオキシドがアルテミシニン及びアルテミシニンの類似化合物からなる群から選択される、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

感染症が C 型肝炎である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 8】

(+) センス R N A ウイルスにより生起される感染症の治療のための薬学的組成物であつて、有効量のエンドペルオキシドを含む、前記組成物。

【請求項 9】

エンドペルオキシドがアルテミシニン及びアルテミシニンの類似化合物からなる群から選択される、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

エンドペルオキシドのペルオキソ結合 (- O - O -) が - S - S - 、 S e - S e - 、 N - O - 及び N - N - 結合及びこれらの全ての組合せからなる群から選択される部分で置き換えられる、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 11】

(+) センス R N A ウイルスにより生起される感染症の治療のための薬学的組成物であつて、インターフェロン又はペグインターフェロンとの組合せにより有効量のエンドペルオキシドを含む、前記組成物。